

△の数	訂正記事	担当	検図	年月日	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△					△				
△					△				
適用規格									
定 格	使用温度範囲	-40℃ ~ 85℃			保存温度範囲	-10℃ ~ 50℃ (梱包材を含む)			
	電 圧	AC/DC 50V			使用・保存温度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)			
	電 流	0.5A (全芯数通電する場合は×70%)			適合ケーブル	t=0.3±0.05,接触部 金めっき			
性 能									
	項 目	試 験 方 法			規 格			QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○
	表示	目視にて確認する。						○	○
電 気 的 性 能	接触抵抗	1mA (DC 又は 1000 Hz)で測定する。			50 mΩ以下 ※ FPC, FFC 導体抵抗を含む。(L=8mm)			○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。			500 MΩ以上			○	○
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	○
機 械 的 性 能	繰り返し動作	20回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗: 50 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3軸方向各 10サイクル試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 50 mΩ以下			○	-
	衝撃	加速度 981 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3方向各 3回試験する。			③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	FPC保持力	適合FPCで測定する。(コネクタ、FPC 共に初期。FPC端末厚t=0.30mm)			挿入方向 0.4×n N以上 (n:芯数)			○	-
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→ 2~3 → 30→ 2~3 分 を 5 サイクル試験する。			① 接触抵抗: 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 50 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 相対湿度 90~95%中に 96時間放置する。						○	-
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10~+65℃, 相対湿度 90~96%中に 10 サイクル(240時間)放置する。			① 接触抵抗: 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1 MΩ以上(高湿時) ③ 絶縁抵抗: 50 MΩ以上(乾燥時) ④ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	耐熱性	温度 85±2℃中 96時間放置する。			① 接触抵抗: 50 mΩ以下			○	-
	耐寒性	温度 -40±3℃中 96時間放置する。			② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	塩水噴霧	温度 35±2℃、濃度 5% の塩水噴霧中に 96時間放置する。			① 接触抵抗: 50 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。			○	-
	二酸化硫黄 [JIS C 0090]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 25±5ppmに 96時間放置する。						○	-
	硫化水素 [JIS C 0092]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 10~15ppmに 96時間放置する。						○	-
	はんだ耐熱性	1)リコ-の場合 MAX 250℃ (2回迄可) 230℃以上 30秒以内 ﾌﾟﾘｰﾄﾞ 150~200℃ 90~120秒 2)手半田の場合 350±10℃ 5±1秒間			外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。			○	-
	はんだ付け性	はんだ温度 235±5℃, 浸せき時間 2±0.5 秒間のはんだ付けを行う。			はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。			○	-
備考				製 図	担 当	検 図	承 認	出 図	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。									
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目									
HIROSE ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.				製品規格表			製品名 FH12A-***S-0.5SH (55)		
IBCL CL		図番 SLC4-150722-51			製品コード CL586				

TO
NC